

番号	3-2-6		表題	複雑な現場状況に対応した支障物撤去型推進工法への変更について	
内 容	<p>本工事は、補助 94 号線（都道不忍通り）道路拡幅事業に先立ち、主要枝線の新設を施工するものである。本現場は、東京メトロ仮設物、事業用地等の特異性を考慮しなければならない複雑な現場環境下での施工である。新設管は、当初の計画では、泥濃式推進工法による施工であったが、発進立坑築造時に不明な残置コンクリートが出現し、路線上にも同様な支障物が危惧されるため、事前に入念な埋設物調査を重ね、施工方法を検討した結果、支障物撤去型推進工法へ変更した。本件は、支障物撤去型推進工法を用い、複雑な現場状況に対応した経緯と解決策について報告する。</p> <p>埋設物調査（試験掘、鉛直磁気探査）の結果、他企業施設に付随すると思われる H 形鋼が干渉することが懸念された。また、当該箇所が都道部交差点であり開削による支障物撤去が困難な状況だった。埋設物調査により支障物が干渉する可能性がある点、道路台帳等に載っていない不明な支障物が出てきた点、開削が困難な背景を踏まえ、現場状況に即した施工方法の検討を行った。また、本案件は補助 94 号線道路拡幅事業の工期制約を受けることから、さらなる不測の事態に備え、支障物撤去型推進工法に変更し、施工することにした。埋設物調査を実施して、なお支障物が障害になる可能性が高い現場にて、道路拡幅事業による工期制約のもと、不測の事態を考慮した検討を行い、道路管理者等との協議及び手続きを並行し進めた結果、懸案していた推進路線は、無事完了することができた。</p>				
キーワード	泥濃式推進工法、支障物、埋設物調査				
処理区名	—	位置区分	—		
職種区分	土木	施策区分	道路改良		
状態区分			新規性	新規知見あり	
実施年度	令和 5 年度	全体期間	令和 6 年度		
担当部署	北部下水道事務所 建設課				
発 表 履 歴	局内	令和 6 年度設計・工事事例発表会（カワセミ）			
	局外				
調査方法					
関連情報					